

皆様へ

美山の野山が美しく色づく季節です。アースガーデンの落葉樹の中にはもうほぼ葉を落としたものもあります。エゴノキ、サクランボ、サルナシ、ヤマウド、ブドウ、フサスグリなどです。ムカゴ蔓の葉やサンシヨの葉も黄色くなり、まもなく落葉することでしょう。庭土の上にはすでに落ち葉が積もっていて、私はその落ち葉を複数の大きめのバケツに集め、生ゴミコンポスト容器の傍の軒下に並べます。そして生ゴミ（大部分がうちの菜園野菜や地場野菜）に、ヌカをふりかけ、落ち葉で覆って堆肥作りをします。四季の巡りの中の養分循環プロセスが体感できる季節なのです。

田舎暮らしをスタートして14年以上が経過しました。田舎暮らしの当初は、カフェや週末民宿をし、ガーデン作りをしながら都会で週2日の仕事をし、大変忙しい日々でした。その慌ただしさの中で失っていたものがあります。それは「自然の恵み」をじっくりと味わい楽しめる余裕でした。その後カフェと民宿を営業終了し、都会の仕事も2010年にやめてようやくそれが可能になり、以来失われたものを取り戻すような生活となっています。

話は変わりますが、私はかつて母が伝えてくれた薬草茶を飲んでいました。ハトムギ、ハブ（エビスグサ、生薬名はケツメイシ）、ゲンノショウコを一定の割合でブレンドしたお茶です。その後何年間かストップしていたのですが、約2年前よりまた飲むようになりました。ハトムギは通販購入し、ハブは畑をしている知人からもったり、地元の産直ショップで売られているのを購入しました。

そして今年はその薬草茶の自給を試みました。ゲンノショウコは赤花と白花が庭に自生しているので、ハトムギとハブ茶を自分で栽培することにし、5月にタネを播きました。そして10月以来、実の熟れた茎から収穫をスタートしました（写真①---ハトムギ、写真②---ハブ草）。実（タネ）を取り、洗って乾燥し、煎る作業が始まろうとしています。ハトムギはこれにプラスして砕きます。このような手間さえいとわなければ、私一人分なら自給できそうだとわかりました。

この薬草茶以外に愛飲しているのは、ガーデンのレモンバーバナのお茶です。初夏～秋に生薬を使う度に収穫して、そのままお湯を注いだり、ミントの葉を加えたり、三州ショウガや金時ショウガ（薄切りにして乾燥保存したもの）を加えることもあります。10月にはまとめて多量の生薬を収穫し、天日干しにして保存しました。11月末より薪ストーブを焚くので、その前に残りの生薬も全て収穫をし、薪ストーブで乾燥し保存します。

他にもお茶の材料が庭にたくさんあります。ビワ葉、柿葉、スギナ、オオバコ、ドクダミ、レモンバームです。お茶の木もありますが、こちらは花を鑑賞して楽しんでいます。徒歩圏内の近所の山林にはクマザザも生えていて、手間をかければ様々な種類のお茶が自給できます。一方、市販されている竜仙房茶舗の有機ほうじ茶も好きなので、たまにはいただきたいです。だから今後どの程度、お茶を手間暇かけて自給するかはまだわかりません。

さて私も高齢者となりました。いつまでアースガーデンで暮らせるのかな、って思うことがあります。現在のガーデンの豊かさ（＝食べられるお庭の生産性と生物多



写真①



写真②

様性)を維持していくには、春～初冬まで一定の維持管理作業が必要です。決して難しいことではなく、現在その多くを私はひとりで楽しみながらこなしています。でも老いの様々な兆しが、私の身体に出ているのも事実です。ガーデンの維持管理ができなくなったら、どなたかにここを引き継いでいただければ、と考えるこのごろです。

そんな想いの中、10月もスタディツアーで、遠方よりアースガーデンに何人かの方が来てくださいました。10月29日には「食べられるお庭のある農的暮らしのデザイン」というトーク&スライドと、ギターの弾き語りがあり、小さなスペースがとてもにぎやかでした。(写真③)



写真③

おひさま発電の累積発電量はまもなく4万 kWh になろうとしています。ガーデン作業で私は時たま電動工具を使いますが、自然エネルギーでできるのがうれしいです。例えば剪定枝の太いものは薪にするのに電気チェーンソーを使い、2~2.5cmの枝は家庭用チップパーでチップにしてガーデンに返すことがあります。これらの作業をお天気の良い日にすれば、おひさまパワーが使えるのです。

2016年11月15日 アースガーデン 植月千砂

アースガーデンおひさま発電所発電データ (5kW 規模)											
累積発電量 39,889kWh(2016/10)											
	2015年 12月	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
発電量(kWh)	332	268	407	567	577	680	434	576	695	279	452